

# 令和6年度 古賀市まちづくり基本条例の検証のための 市民参加ワークショップ報告書

受託事業者：(株)よかネット

## 目次

1. ワークショップの目的.....	1
2. 全3回のテーマ.....	1
3. 開催日時等.....	1
4. 第1回のプログラム・結果.....	2
5. 第2回のプログラム・結果.....	5
6. 第3回のプログラム・結果.....	11
7. ワークショップ結果にみるまちづくり基本条例の検証に向けた視点.....	16
参考：ワークショップ参加者アンケート結果.....	17

## 1. ワークショップの目的

平成29年4月に施行された「古賀市まちづくり基本条例」では、施行後4年を超えない期間ごとに、社会情勢の変化を勘案し、条例の規定について検証を加え、その結果に基づいて必要な措置を講じることが求められている。今年度、条例施行4年目となる令和2年度の検証、見直しから4年目にあたり、本規定に基づき条例の検証を行うことになった。

検証に際して「市民ワークショップ」を開催し、コロナ禍を経たこれからのまちづくりへの意見や想いを話し合うことで、「古賀市まちづくり基本条例検証委員会」における検証の際の基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 全3回のテーマ

回数	テーマ
第1回	「知る」 ①まちづくり基本条例について ②みなさんにとっての「まちづくり」とは？ ・ 普段の関わりや活動について情報交換
第2回	「語る」 まちづくりの基本原則「情報の共有」「市民参画」「共働」を踏まえ ①まちづくりの現状と課題は？（できていること・できていないこと） ②まちづくりを進めるうえで大事にすべきことは？（求められること）
第3回	「考える」 まちづくりの現状と課題、大事にすべきことを踏まえ ①「情報の共有」「市民参画」「共働」を進めていくための考え方 ②「情報の共有」「市民参画」「共働」を進めるために取り組むべきことと 市民、自治会・校区コミュニティ、市民活動団体、行政、議会などそれぞれが果たす役割は？

## 3. 開催日時等

開催日時は、以下のとおりである。場所は、いずれも「古賀市リーパスプラザこが 中会議室」で行った。

回数	日時・参加者
第1回	日時：令和6年7月20日（土） 10：00～12：00 参加者数：20名
第2回	日時：令和6年8月3日（土） 10：00～12：00 参加者数：19名
第3回	日時：令和6年8月24日（土） 10：00～12：00 参加者数：17名

## 4. 第1回のプログラム・結果

### ①プログラム

当日は、参加者に1班4名、計5班に分かれてもらい、以下の内容で進行した。

- (1) 開会
  - (2) あいさつ・趣旨説明
  - (3) ワークショップの組立
  - (4) まちづくり基本条例について
    - ・条例の策定経緯と目的、条例の概要
    - ・条例の推進及び運用状況
  - (5) みなさんにとっての「まちづくり」とは？～ワールドカフェ～
- ラウンド1

- ・自己紹介（名札記入後、班内で自己紹介）  
「あなたのまちづくりとの関わりや活動は？」
- ・上記の問いかけに対してクラフト紙に記入し、班内で、関わりや活動を紹介
- ・普段の関わりや活動で、感じていること（よかったことや達成感、問題等々）を意見交換（共感できることはクラフト紙にメモ）

### ラウンド2

- ・班の中でホスト役1人を残し、他の人は他の班へ席替え
- ・新たな班で簡単に自己紹介
- ・前の班でどんな意見があったか等を紹介し、ラウンド1と同様に、まちづくりとの関わりや活動、感じていること（よかったことや達成感、問題等々）を意見交換（共感できることはクラフト紙にメモ）

### ラウンド3

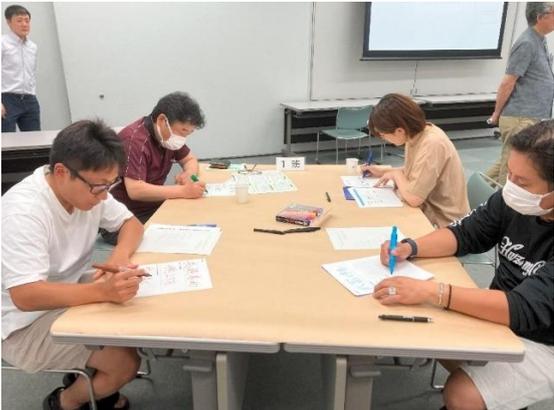
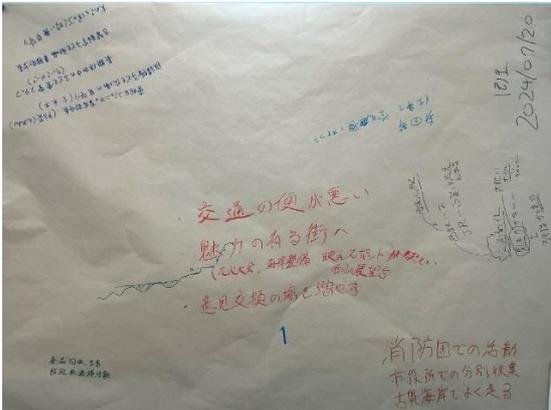
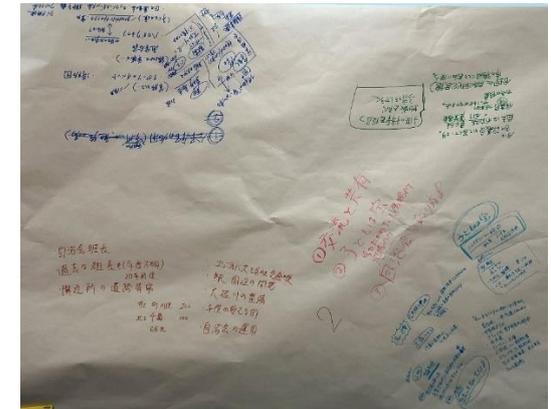
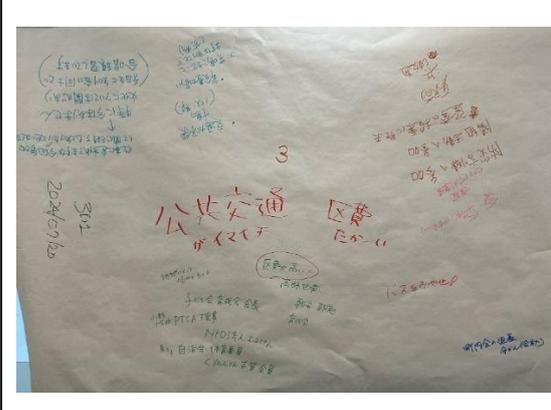
- ・元の班に戻って、席替えした班でどんな意見があったかを確認
- ・古賀市のまちづくりについて共感できたことを3つクラフト紙に書き出す

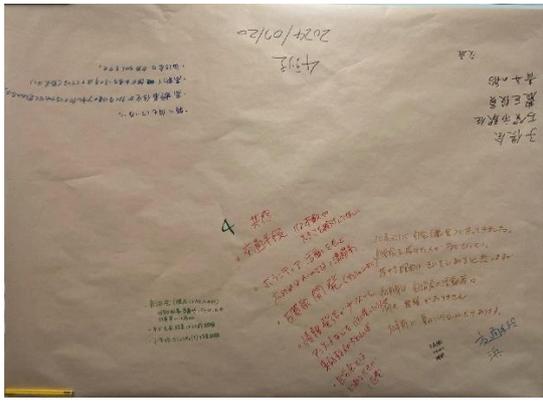
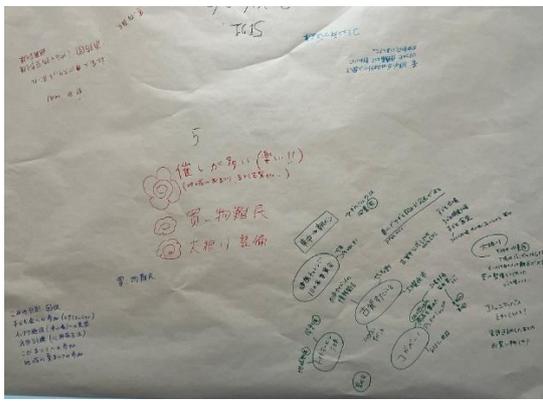
### 発表

- ・各班より、古賀市のまちづくりについて共感できたことについて発表

②グループワークの結果（「古賀市のまちづくりについて共感できたこと」）

各班の参加者が意見交換を「共感できたこと」は、以下のとおりである。

班	共感できたこと
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便が悪い（古賀駅は快速が止まるが、他は止まらない、西鉄バスの減便など）</li> <li>・魅力のある街へ（花火大会、海岸整備、映えスポット（西山展望台）が欲しい）</li> <li>・意見交換の場を増やす</li> </ul>  
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流と共有が大切</li> <li>・子どもは宝（学力を高めたり、居場所を作ったり、地域の力が重要）</li> <li>・自治会のあり方（高い区費、公民館の活かし方、行事のあり方等）</li> </ul>  
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通がイマイチ（バスの便数、列車の本数）</li> <li>・区費が高い</li> </ul>  

班	共感できたこと
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通手段（バスの本数や大きさを検討してほしい）</li> <li>・ ボランティア活動をもっと広めれば良いのではないか（清掃等）</li> <li>・ 古賀駅開発（マンションなど）</li> <li>・ 情報発信が少ない。アンケート等をバスに乗っている人や来訪する人から取ると良い。</li> <li>・ 自治会はどうあるべきか（区費 etc）</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 催しが多い（楽しい！！）（地域のおまつり、まつり古賀 etc）</li> <li>・ 買い物難民（免許返納した後のお買い物は？コミュニティバス上手くいっている？）</li> <li>・ 大根川整備（昔は整備してくれた。ゴミが増えている。筵内辺りは離合が大変 etc）</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>

## 5. 第2回のプログラム・結果

### ①プログラム

当日は、参加者に1班4～5名、計4班に分かれてもらい、以下の内容で進行した。

- (1) 開会・あいさつ
- (2) ワークショップの組立
- (3) 第1回の振り返り
  - ・第1回の振り返り
  - ・市民アンケート調査結果 速報値の紹介
- (4) まちづくりの推進のために
  - ・まちづくりの基本原則の紹介
- (5) まちづくりの現状と課題は？（グループワーク）

#### グループワーク・自己紹介

- ・古賀市のまちづくりを、基本原則の観点から5点満点で評価（まずは肌感覚で）
- ・点数、男女のバランスを考慮し、グループ分け
- ・名札を記入し、グループで自己紹介（名前と点数とその理由）

#### 問1 できていると思うこと・できていないと思うこと

- ・身の回りのまちづくりの例、「情報共有」「共働」「市民参加」のイメージ、参加のはしごの紹介
- ・身の回りのまちづくりの分類で、まちづくりの基本原則（情報共有・市民参画・共働）を視点に「できていると思うこと」・「できていないと思うこと」を付箋紙に記入（思いつく範囲で可）
- ・記入したことを班で紹介しながら意見交換（新たにや思いついたことは付箋紙に追加記入）

#### 問2 まちづくりを進める上で大事にすべきことは？

- ・「できていること」「できていないこと」を確認し、まちづくりを進めるうえで、3つの原則を視点に求められることや大事にすべきことを話し合い、付箋紙（黄色）に記入

#### 発表

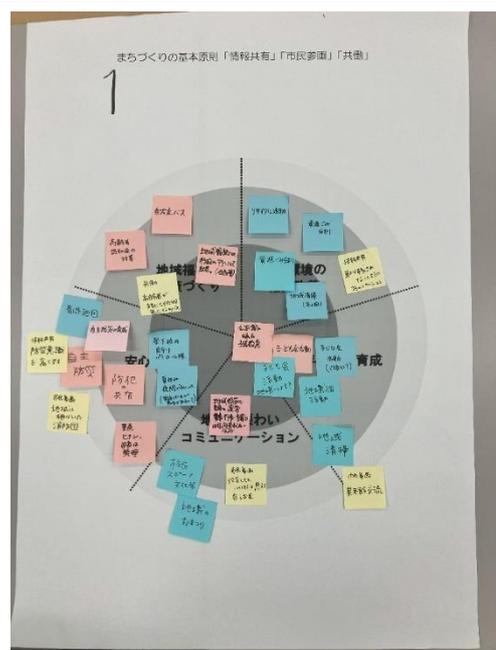
- ・各班より、原則ごとに求められることや大事にすべきことについて発表

## ②グループワークの結果

各班の意見は、以下の通りである。

ア：1班

項目	できていること (青付箋) ■	できていないこと (赤付箋) ■	3原則を視点に求められることや大事にすべきこと(黄付箋) ■
生活環境の維持改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル活動</li> <li>・資源ごみの分別</li> <li>・地域清掃(年2回)</li> </ul>		(情報共有) <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り残されないようにコミュニケーション</li> <li>・防災意識を高くする</li> </ul> (市民参画) <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢交流</li> <li>・役員してもいいなと思える自治会</li> <li>・地域に根付いた消防団</li> </ul> (共働) <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が町に繰り出せる足になるバス</li> </ul>
青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会活動</li> <li>・地域猫活動</li> <li>・地域清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館を使った子ども教育</li> <li>・子ども会活動</li> </ul>	
地域のにぎわいコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会活動</li> <li>・校区スポーツ文化祭</li> <li>・地域のお祭り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域役員の呈導の運営、行事・予算が10年間余り変わらない</li> </ul>	
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の見守り</li> <li>・パトロール隊</li> <li>・夏休み夜間パトロール</li> <li>・青パト巡回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯の共有</li> <li>・避難。学校は無理</li> <li>・自主防災の育成</li> </ul>	
地域福祉と健康づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者認知症の対策</li> <li>・自治会バス</li> <li>・地域福祉への行政のアドバイスや助言(企画等)</li> </ul>	



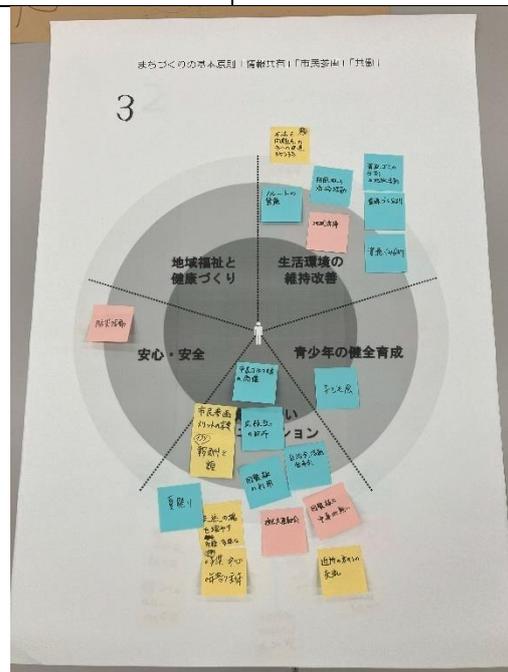
イ：2班

項目	できていること (青付箋) ■	できていないこと (赤付箋) ■	3原則を視点に求められることや大事にすべきこと (黄付箋) ■
生活環境の維持改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源ごみ分別 (2) (地域以外に市役所の日もある)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校へのアクセス悪い</li> <li>・西鉄電車跡地の活用</li> </ul>	(情報共有) <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体間の意見交換</li> <li>・SNS 等情報の相互発信</li> </ul>
青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区コミュニティ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会活動</li> <li>・コミュニティ共働</li> <li>・校区コミュニティ活動</li> <li>・PTCA の道筋の共有</li> </ul>	(市民参画) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域清掃</li> </ul>
地域のにぎわいコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS、ネット、広報誌での情報発信 (2)</li> <li>・SNS での行事案内募集</li> <li>・地域活動多い (お祭りなどの楽しめるイベント)</li> <li>・自治会の情報</li> <li>・ボランティア情報の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区コミュニティの道筋の共有</li> <li>・校区文化事業</li> <li>・団体間の意見交換</li> <li>・必要な人まで情報が届いていない</li> <li>・地域差がある</li> </ul>	(共働) <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災活動</li> </ul> 情報共有 双方向性、家庭内でも ↓ 市民参画 各団体で競い合わせない ↓ 共働 お互いの尊重=人権
安心・安全		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のたまり場</li> </ul>	
地域福祉と健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉会 (高齢者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者以外の福祉が見えない</li> </ul>	



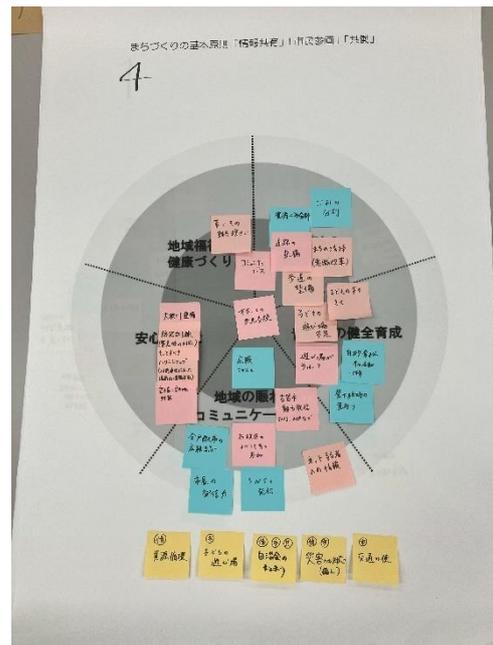
ウ：3班

項目	できていること (青付箋) ■	できていないこと (赤付箋) ■	3原則を視点に求められることや大事にすべきこと(黄付箋) ■
生活環境の維持改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源ごみの分別及び地域活動(3)</li> <li>・防風林の清掃活動</li> <li>・ノルートの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域清掃</li> </ul>	<p>(情報共有)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不満点や問題点の市への伝達をどうするか</li> </ul> <p>(市民参画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メリットの享受 例) 報酬と額</li> </ul> <p>(共働)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の方々との交流</li> <li>・多種多様な交流の場を増やす 例) 子供中心、お年寄り主体</li> </ul>
青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会</li> </ul>		
地域のにぎわいコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ゴルフ大会の開催</li> <li>・広報誌の配布</li> <li>・自治会活動、食事会</li> <li>・回覧板の利用</li> <li>・夏祭り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧板に中身がない</li> <li>・校区大運動会</li> </ul>	
安心・安全		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災活動</li> </ul>	
地域福祉と健康づくり			



工：4班

項目	できていること (青付箋) ■	できていないこと (赤付箋) ■	3原則を視点に求められることや大事にすべきこと (黄付箋) ■
生活環境の維持改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源ごみの分別 (2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路、歩道の整備 (2)</li> <li>町の清掃 (意識改革)</li> <li>コミュニティバス</li> <li>市民との意見交換</li> </ul>	(情報共有) ・資源循環 ・災害への対応や備え ・自治会のまとまり  (市民参画) ・交通の便 ・子どもの遊び場 ・自治会のまとまり  (共働) ・災害への対応や備え ・自治会のまとまり
青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>白砂青松 (守る活動)</li> <li>登下校時の見守り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの声を聞く</li> <li>子どもの遊び場不足</li> <li>市民との意見交換</li> </ul>	
地域のにぎわいコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報 (全戸配布の広報誌)</li> <li>市長の発信力</li> <li>SNS の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古賀市の魅力発信 (SNS、HP など)</li> <li>行政区のイベント等の参加</li> <li>ネット弱者への情報提供</li> <li>市民との意見交換</li> </ul>	
安心・安全		<ul style="list-style-type: none"> <li>大根川整備</li> <li>防災訓練 (緊急時の対応)</li> <li>ハザードマップ (以前事故があった場所の情報共有)</li> <li>空き家・空き地対策</li> <li>市民との意見交換</li> </ul>	
地域福祉と健康づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>買物難民対策</li> <li>コミュニティバス</li> <li>市民との意見交換</li> </ul>	



③3原則に対して求められること・大事にすべきこと

ワークショップの意見をもとに、3原則に対して求められること・大事にすべきことを整理すると、以下の通りである。

情報共有	市民参画	共働
<ul style="list-style-type: none"><li>・情報の受発信の双方向性</li><li>・誰も取り残されない</li><li>・情報伝達の仕組み</li><li>・個人間、団体間の情報共有</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・多世代の参画</li><li>・メリットの享受</li><li>・自治会のまとまり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・多種多様な交流機会の創出</li><li>・お互いの尊重</li></ul>

## 6. 第3回のプログラム・結果

### ①プログラム

当日は、参加者に1班4～5名、計4班に分かれてもらい、以下の内容で進行した。

- (1) 開会・あいさつ
  - (2) ワークショップの組立
  - (3) 前回（第1回、第2回）までの振り返り
  - (4) 市民アンケート単純集計調査結果
  - (5) これからのまちづくりで取り組むべきことと、それぞれの役割（グループワーク）
- グループワーク・自己紹介

- ・まちづくり基本条例を知り、これからまちづくりを進めるうえで条例への期待度を5点満点で評価
- ・点数、男女のバランスを考慮し、グループ分け
- ・名札を記入し、グループで自己紹介（名前と点数とその理由）

#### 問1 「情報共有」「市民参画」「共働」を進めていくための考え方は？

- ・前回話し合ったこと、アンケート結果等を踏まえ、まちづくり基本条例で定める基本原則「情報共有」「市民参画」「共働」を進めていくための重要な考え方について話し合い、付箋紙（青色）に記入
- ・記入したことを班で紹介しながら意見交換（新たにや思いついたことは付箋紙に追加記入）

#### 問2 「情報の共有」「市民参画」「共働」を進めるために取り組むべきことと果たす役割は？

- ・考え方を確認し、「情報共有」「市民参画」「共働」を進めるために取り組むべきことを話し合い、付箋紙（赤）に記入し、シートに貼る
- ・取組を進めるうえで、市民、自治会・校区コミュニティ、市民活動団体、行政が果たすべき役割や心がけることを話し合い、付箋紙（黄）に記入し、取組の近くに貼る（すべての取組でなくて可）

#### 発表

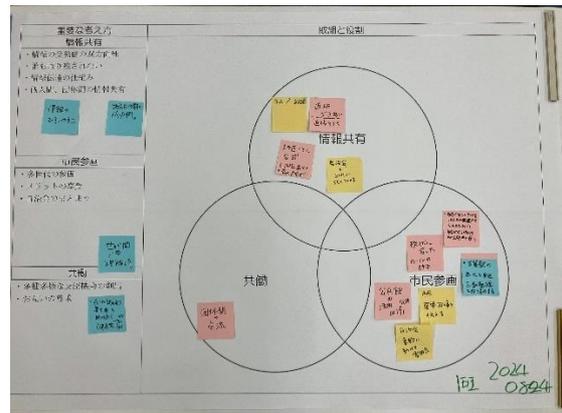
- ・各班より、原則ごとに求められることや大事にすべきことについて発表

## ②グループワークの結果

各班の意見は、以下の通りである。

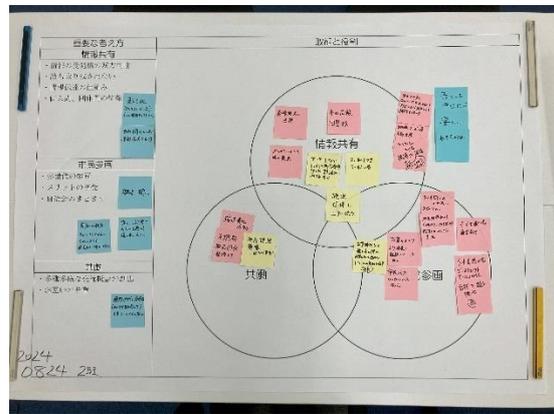
ア：1班

	情報共有	市民参画	共働
重要な考え方 これまでの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の受発信の双方向性</li> <li>誰も取り残されない</li> <li>情報伝達の仕組み</li> <li>個人間・団体間の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多世代の参画</li> <li>メリットの享受</li> <li>自治会のまとまり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多種多様な交流機会の創出</li> <li>お互いの尊重</li> </ul>
追加事項 <span style="color:blue">■</span> (青付箋)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報のひろいやすさ</li> <li>他自治体の成功例の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世代間で理解し合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いに認め合う</li> <li>寄り添う</li> <li>1人ではなく多数で助け合う(伴走型)</li> </ul>
取組 <span style="color:red">■</span> (赤付箋)と 役割 <span style="color:yellow">■</span> (黄付箋) ▶	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区ごとに公式 LINE があると便利(オープンチャットなど)</li> <li>▶自治会が SNS に強くなる</li> <li>近所づきあい(直接会いに行く)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状に合った自治会ルールの改正</li> <li>自分がボランティアをしたらその価値を貯めて、自分がボランティアを頼む時に使う</li> <li>▶自治会は、柔軟に動ける雰囲気をつくる</li> <li>公民館の活用(公共Wi-Fiの整備)</li> <li>古賀駅の西区と東区の区画整理を役場がする</li> <li>▶市民が要望・困り事を伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体間の交流</li> </ul>



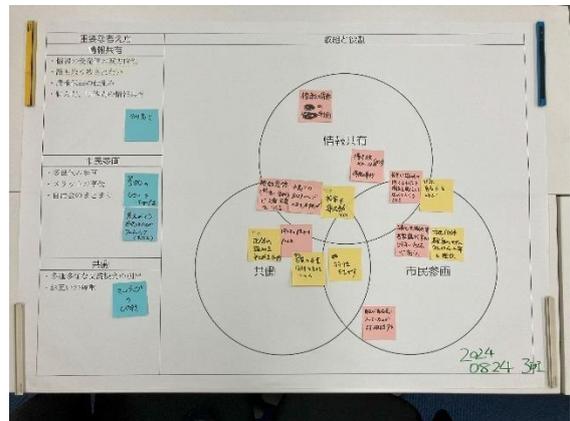
イ：2班

	情報共有	市民参画	共働
<b>重要な考え方</b> これまでの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の受発信の双方向性</li> <li>誰も取り残されない</li> <li>情報伝達の仕組み</li> <li>個人間・団体間の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多世代の参画</li> <li>メリットの享受</li> <li>自治会のまとまり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多種多様な交流機会の創出</li> <li>お互いの尊重</li> </ul>
<b>追加事項</b> ■ (青付箋)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の見える化(知っている人がいる、この情報知っているな)</li> <li>世代間や人によって情報格差を無くす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味・関心</li> <li>周知の仕方(もっとやってみたい、チャレンジしたいを簡素化して分かりやすく)</li> <li>楽しい、また行ってみたいと思える催し事・イベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現役世代の負担軽減(みんなで支え合って)</li> </ul> 例：こどもの預け入れ
<b>取組</b> ■ (赤付箋)と <b>役割</b> ■ (黄付箋) ▶	<ul style="list-style-type: none"> <li>有線放送の活用</li> <li>市の広報・回覧板の活用</li> <li>コミュニケーションの場の創出</li> <li>アンケートの取り方を工夫</li> <li>▶職員が何らかの待ち時間に直接聞く</li> <li>▶わかりやすく、QRコードを組み込んで内容入力を簡単にし、解答率を増やす</li> <li>▶地域クーポン券の有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境美化活動</li> <li>不燃物廃品回収</li> <li>▶関係団体は、海岸掃除の募集に際して遊びの要素を加える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども同士のふれあいのイベント</li> <li>地区対抗イベントで親同士のコミュニティを創出</li> <li>自然で遊ぶ機会の創出(ボーイスカウト、ガールスカウト)</li> <li>ローカルバスの拡充</li> <li>子ども劇場</li> <li>通学合宿</li> <li>古賀のまつりをより発展させ、継続する</li> <li>▶市民は古賀神社など催し事の際に、古賀の取組やイベントへの参加を促す</li> </ul>



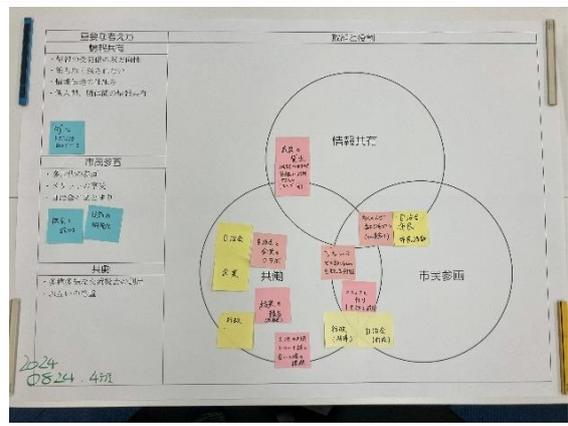
ウ：3班

	情報共有	市民参画	共働
重要な考え方 これまでの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の受発信の双方向性</li> <li>誰も取り残されない</li> <li>情報伝達の仕組み</li> <li>個人間・団体間の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多世代の参画</li> <li>メリットの享受</li> <li>自治会のまとまり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多種多様な交流機会の創出</li> <li>お互いの尊重</li> </ul>
追加事項 ■ (青付箋)	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加の敷居を下げる</li> <li>意見がどのように反映されたのかフィードバック (手ごたえ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マッチングのしやすさ</li> </ul>
取組 ■ (赤付箋) と 役割 ■ (黄付箋) ▶	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数媒体の利用</li> <li>掲示板 (SNS) みたいなものを活用し、情報を集約 (共働と重なる取組)</li> <li>複数団体で文章・広報を作成</li> <li>中高生の取材ページのある「広報こが」 ▶学校が授業や部活動として行う。 (市民参画と重なる取組)</li> <li>若者が興味を持てるイベント情報を発信して SNS 等で広めてもらう ▶行政は有名人を呼ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て、共働きなど、各家庭が参加しやすい方法で行う。 ▶市民団体は、各家庭のモデル、タイムスケジュールなどを提供する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の強みを伝える ▶行政は、団体の強みをまとめる (HP 等で公開)</li> <li>▶市民は、古賀の企業・団体を知ることからはじめる (市民参画と重なる役割)</li> <li>▶それぞれが特性を活かす</li> </ul>



工：4班

	情報共有	市民参画	共働
<b>重要な考え方</b> これまでの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の受発信の双方向性</li> <li>誰も取り残されない</li> <li>情報伝達の仕組み</li> <li>個人間・団体間の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多世代の参画</li> <li>メリットの享受</li> <li>自治会のまとまり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多種多様な交流機会の創出</li> <li>お互いの尊重</li> </ul>
<b>追加事項</b> ■ (青付箋)	<ul style="list-style-type: none"> <li>旬なトピックを取り上げる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機会を設ける</li> <li>それぞれの役割を明確化する</li> </ul>	
<b>取組</b> ■ (赤付箋) と <b>役割</b> ■ (黄付箋) ➤		<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人が集まる場づくり (例：夏祭り)</li> <li>➤市民、自治会は参加して顔見知りを増やす (情報共有と重なる取組)</li> <li>施設 (例：スケートボード場) はあるけど気軽に利用できない状況を改善する</li> <li>➤施設等は、道具を貸出して利用を促す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会と企業のコラボ</li> <li>結果の報告</li> <li>旬なテーマでの取り組みを考え、実行する</li> <li>土地利用について話し合いの場を提供 (市民参画と重なる取組)</li> <li>自治会が何か取組をする際に役立つマニュアル作り (負担軽減)</li> <li>➤自治会は作成する</li> <li>➤行政は指導する</li> </ul>



## 7. ワークショップ結果にみるまちづくり基本条例の検証に向けた視点

今回のワークショップでは、基本条例に定める3原則（情報共有、市民参画、共働）について、参加者がこれまで携わってきたまちづくりの経験や、市民アンケート調査結果などを共有する中で話し合いを重ねてきた。

第1回ではご自身のこれまでのまちづくりの経験を語り合う中で、よかったことや達成感、問題点などを出し合い、古賀市のまちづくりで共感できることを確認した。

第2回では、第1回の内容をふまえ、身近なまちづくりを通して出来ていること、出来ていないことを、そして、3原則を視点に求められることや大事にすべきことを語り合った。

第3回目では、第1回、第2回の内容を踏まえて、3原則に求められることや大事にすべきことを、そして、3原則を進めていくための取組について語り合った。

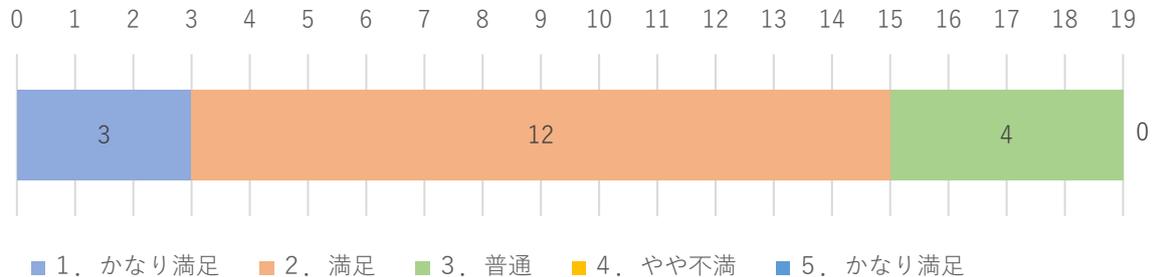
計3回のワークショップを通じて得られた3原則に求められることや大事にすべきこと、さらに、3原則が関連し合って相乗効果を発揮してまちづくりを進められるよう考えられた取組は以下の通りである。これらを参考に、検証委員会にてこれまで市が取り組んできた事業の検証を行い、よりよい条例、事業につながることを期待される。

	情報共有	市民参画	共働
3原則に求められること、大事にすべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の受発信の双方向性</li> <li>誰も取り残されない（世代間等による情報格差をなくす）</li> <li>多様な情報伝達の仕組み</li> <li>個人間・団体間での情報共有</li> <li>情報のアクセスしやすさ</li> <li>情報の新鮮さ</li> <li>情報の見える化</li> <li>わかりやすさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多世代の参画</li> <li>メリットの享受</li> <li>自治会のまとまり</li> <li>機会の創出</li> <li>それぞれの役割の明確化</li> <li>お互いに理解し合う</li> <li>周知仕方の工夫（やってみたい、チャレンジしたいを分かりやすく）</li> <li>楽しい、また行ってみたいと思えるか。</li> <li>参加の敷居を下げる</li> <li>意見がどのように反映されたかをフィードバックする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多種多様な交流機会の創出</li> <li>お互いの尊重</li> <li>寄り添う</li> <li>多数で助け合う</li> <li>現役世代の負担軽減</li> </ul>
3原則を進めていくための取組例	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNS、広報誌等、複数媒体の活用</li> <li>中高生の取材ページのある「広報こが」（若者目線での情報収集・発信）</li> <li>各団体の概要や取組、強みがわかる資料作成、交流の場づくり</li> <li>顔見知りを増やすために多くの人が集まる場づくり（例：夏祭り）</li> <li>施設情報の発信と道具等の貸し出しによる利用促進（例：スケートボード場）</li> <li>自治会への加入・自治会運営に関するマニュアルづくり</li> <li>アンケート方法の工夫（直接聞き取り、WEB併用、地域クーポン券の活用、結果のフィードバック）</li> </ul>		

参考：ワークショップ参加者アンケート結果

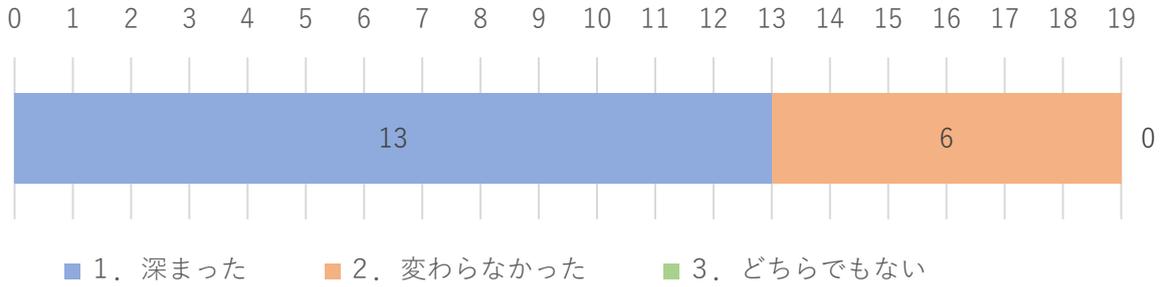
回答者数=19

【問1】 今回のワークショップに参加してみてもいいか。

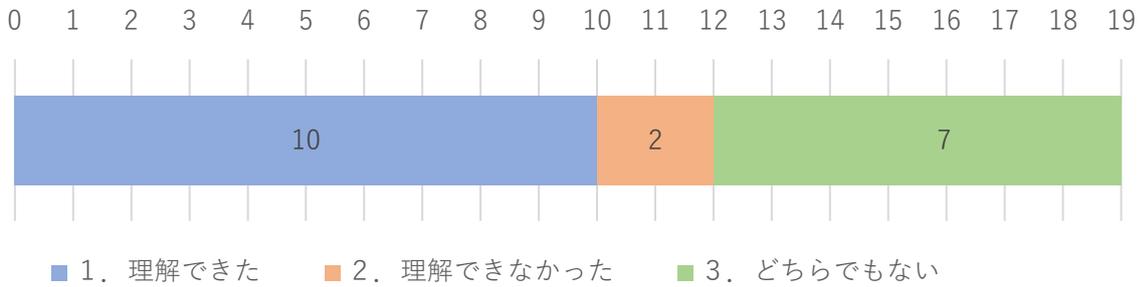


選択肢	ご意見
1. かなり満足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な方とコミュニケーションできて勉強になりました。</li> <li>・ 課題と感じていることの共有ができた</li> <li>・ 具体的対策は決める事はなかったが、方向性は少し分かったような</li> </ul>
2. 満足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色々な方の意見を聞いて学びがありました</li> <li>・ まちづくりについて参加者の方と一緒に話すことができたから</li> <li>・ 様々な考え方が聞けて良かった</li> <li>・ 他の方の色々な意見を聞いて面白かった。</li> <li>・ たくさんの意見を聞いて有意義な時間でした</li> <li>・ いろんな方の意見を伺うことができて参考になりました！</li> <li>・ 内容が難しいので3回では足りなかった。</li> <li>・ 「まちづくり」への契期（動機付けになった）</li> <li>・ 普段出会えない方たちと話ができて良かった。</li> <li>・ 皆の意見が聞けて良かった</li> <li>・ 周りの方の色々な意見が聞けた</li> </ul>
3. 普通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色々な意見があり、楽しかった</li> <li>・ 3回目を体調不良の為欠席し全体の把握が出来ていない為。</li> </ul>
4. やや不満	
5. かなり満足	

【問2】 「古賀市まちづくり基本条例」に対する理解は深まりましたか。

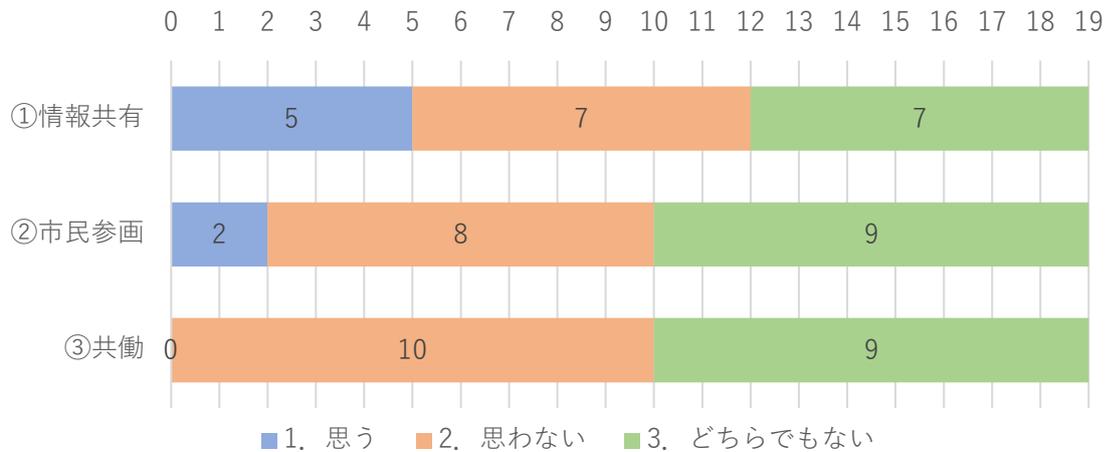


【問3】 「市民」「行政」「議会」の役割分担について理化できましたか。

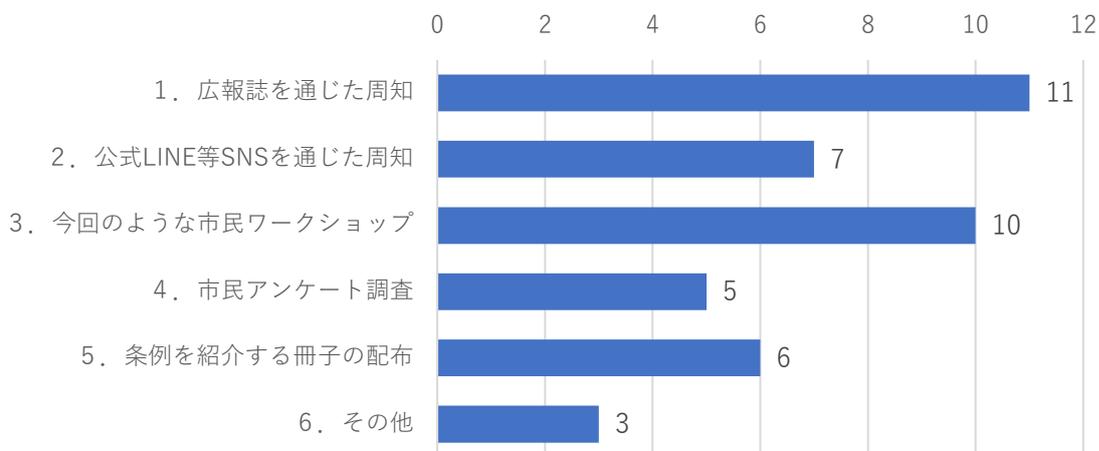


選択肢	ご意見
1. 理解できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回に詳しく説明していただいたから</li> <li>・市民の気持ち、考え（アンケート未回答）をどのように動かすか大事だと感じた。</li> <li>・それぞれでやるべきことがしっかりありますね</li> <li>・参加する前より理解できたので。</li> <li>・議会はまだ少し・・・勉強します。</li> <li>・詳しく説明を受けた</li> <li>・わかり易い資料及び解説の為、ある程度理解出来た。</li> </ul>
2. 理解できなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の話はあまりでなかった。</li> </ul>
3. どちらでもない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボヤッとしかわかっていません</li> <li>・市の現状がわからないので</li> <li>・説明できるレベルにないので振り返りをしたいです。</li> <li>・あまり意見が出なかった</li> <li>・行政が責任を取る事で進めて検証をする。多くの市民のために（勇気をもって）</li> <li>・第3回目に参加できなかったの。</li> </ul>

【問4】 「情報共有」「市民参画」「共働」について市民に浸透していると感じましたか。



【問5】 「古賀市まちづくり基本条例」がもっと市民に浸透するためには、どのような取組が必要だと思いますか。



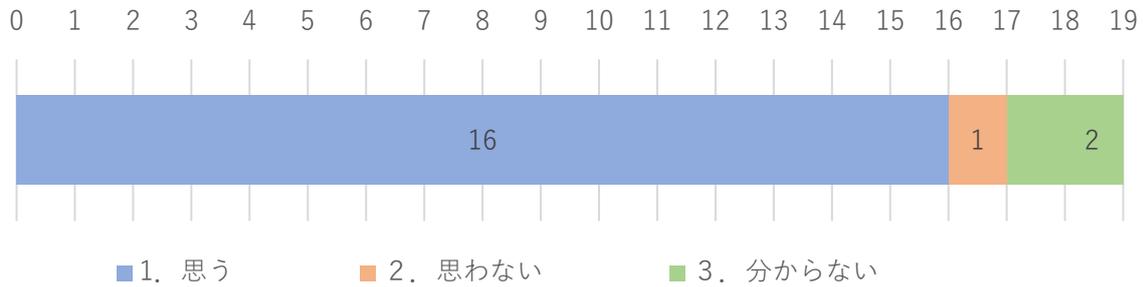
(その他)

- ・ 受け取る人も多様なのでいろいろやってみるべし
- ・ イベント等を通じた広報
- ・ 市から提案を出して論議を

【問6】 第2回ワークショップの最後をお願いした内容です。今年度、市では自治会への加入促進のため、のぼり旗を作成する予定です。どのようなキャッチフレーズがよいでしょうか。

- ・こまったときに たよりになるのは ご近所さん
- ・みんなで作ろう 住みたいまち
- ・みんなでよくしよう！取組みませんか自治会活動！
- ・災害時 困った時に頼りになるのは 隣組
- ・揺れるたび 気になる近所の おばあちゃん
- ・表札なくても 大丈夫だよ
- ・つながりと助け合いで 住み良い地域に
- ・増えると安心！顔見知り
- ・あなたの生活を変えるのは あなた自身です 自治会へ参加しましょう
- ・地域のつながり 自分の未来のために 自治会へ加入しよう！
- ・つなげよう 人の輪
- ・手と手を取り合い 皆で支え合う〇〇←住んでる町や区名
- ・あなたの住みやすさ あなたとともに
- ・ハッピー シティ 古賀
- ・安心なまちづくりには あなたの参加が必要です
- ・認め合う 寄り添う 助け合う（伴走型）
- ・みんなで造る 地域コミュニティ
- ・住みよいまちをつくるのは、あなた。（の意見。）

【問7】 4年後、次回のまちづくり基本条例検証の際に、今回のようなワークショップを開催する時はまた参加したいと思いますか。



選択肢	ご意見
1. 思う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の生活も変わっていると思う。今回見れていなかったことにも考えていきたい。</li> <li>・面白かった。</li> <li>・「これからも古賀に住み続けたいので」</li> <li>・さまざまな思考の人の意見を聞くことができるのはとても有意義な時間なので。</li> <li>・どの様に変っていけるか確認したいので。</li> <li>・今回の意見が反映するのであれば参加したい。</li> <li>・色々な方の意見が聞けて勉強になった為</li> <li>・今回の参加をきっかけに4年後どうなったか学びたいため</li> <li>・自己啓発となった（生活の変化）</li> <li>・参加したいと思うが、多様な立場の人が参加できるのも大切だと思う。学校、地域、企業、福祉の支援者</li> <li>・お金が良かった。</li> <li>・今後もこの様な企画を通して古賀市が良くなればと思います。</li> <li>・おもしろい。</li> </ul>
2. 思わない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぜひ様々な人にも参加してほしい</li> </ul>
3. 分からない	

【問8】 その他、今回のワークショップに関することや古賀市のまちづくりに関すること、ワークショップに参加して感じたことや意識の変化など、ご自由にお書きください。

(条例について)

- ・ 出来上がる条例を楽しみにさせていただきます。
- ・ 今回のワークショップに参加するまでは古賀市のまちづくり基本条例について全く知りませんでした。今回の催しをきっかけにどういったことなのか様々な年代の方と交流し、意見交換できて本当に良かったです。ありがとうございました。

(周知について)

- ・ 今回に限らずですが、WS やアンケートに参加している人は、それだけで興味があると思うので、そうじゃない人への周知が大変だなあと感じます。
- ・ 広報や LINE で周知しても全然伝わってないことが沢山あるのにおどろいた。

(今回の WS の企画・運営について)

- ・ 考えていく上で役割のできることを説明してもよかったと感じた。(議会や行政にできること等)
- ・ 条例の本文も載せていただけるとよかったです。
- ・ 市内であっている活動や団体を社会教育委員の会議で整理している資料もあると思うので、それも資料的にあれば参考にできたと思います。
- ・ まずはじめにアイスブレイクで何かしたら、もっと早い段階から話しがすすむのでは。スタートを9じとか9じ半にしても良いと思いました。時間が短い。ぼしゅうについてランダムの郵送と同時に広報に申込フォームをのせて募集しては？年代別なども方法はあると思います。

(感想)

- ・ 住みやすい古賀市の発展に期待するばかりです。
- ・ ぜひ私たちがずっと住み続けたいと思える古賀のまちづくりをお願いします。
- ・ いつも参加している団体や地域のメンバーとは異なる方々とお話しをする機会があって良かったです。
- ・ 基本的な理念を持つことは重要なことであるが、市民の意識レベルが低くなっている状況でどこまで浸透していくか不明であると感じた。しかし、知ること興味を持つ人も多数いると思うので、そこに工夫が必要であると感じた。
- ・ 行政が強力に事業を進める、そして市民が検証する。早く進む
- ・ 皆さんの考えや見解を聞く事ができた
- ・ 公共改善への意識が出てきた
- ・ 長い单身生活を終え、古賀に戻ってきて1年たちました。参加してから市民の自覚もめばえ広報を読んだり、地域活動に参加したりしました。ありがとうございました。

- ・初めてワークショップに参加しました。うまく意見が出せなかったのですが、自分が住むまちについて真剣に考える時間になりました。
- ・色んな地域の方、世代の方と話せて学びがあった。
- ・子育て世代、高齢者、生活弱者、単身者 etc 生活スタイル、考え方、趣味など全ての人に寄り添う事はとても大変だと思いますが、この様な機会をもっと増やして前進して下さい
- ・第1回、2回の参加で感じました事は、各自体的又個人によってまちづくりに対する理解及び関わりが違っているのが解りました。今後少しづつでも多くの市民の方に理解して頂ければと思います。

※原文をそのまま記載しています。